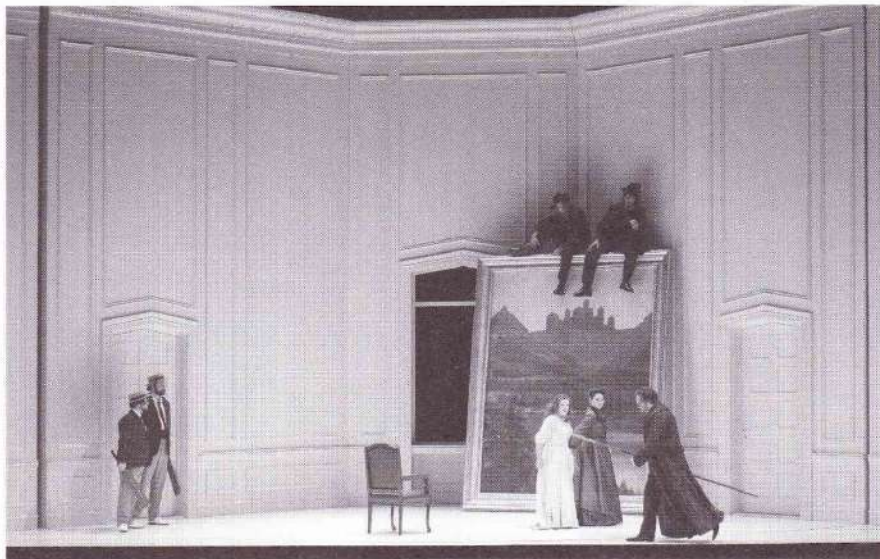


チューリヒ歌劇場《リング》ほか

ジャンンドレア・ノセダがチューリヒ歌劇場の新音楽監督に就任した最大の目的であり、任期終了までに有終の美を飾る演出を残したいアンドレアス・ホモキ総裁の意思も背負うワーグナー《ニーベルングの指環》が、4月30日《ラインの黄金》プレミエで始まった。その2日前から歌劇場前広場では劇場のファサードを使ったスライドショーが30分ごとに催され、市民を楽しませた。

そうして街全体で盛り上げた《チューリヒ・リング》は、真つ暗闇の劇場から拍手もなく、ライン川の底からふつと湧き出るような音楽で始まった。しかしそんな聴覚的詩的想像力に反し、視界に入るのは回り舞台がいくら回っても無機質な白い部屋ばかり。ラインの乙女たちも白いバジャマを着て、枕投げなどしてはしゃぎ回るが、ウリアーナ・アレヒユク、ニーム・オーサリバン、シエナ・リヒト・ミラーの3人とも歌唱力は粒ぞろいだ。そこにクリストファー・バーウス扮するアルベリヒが登場すると、その存在感と明瞭なドイツ語が際立ち、ようやくワーグナーの世界が確立した。第2場はヴァルハラ城も描かれている大きな風景画を前に居眠りするヴォータン、トマス・コニエチューニは威力のある声だが力んだ歌唱だ。ワーグナー特有の興奮を誘うはずのヴァルハラをライトモティーフはなぜか深みに欠け、ヴァルハラを突き破って巨人が登場すると、文字通り客席の

一部を飛び上がらせた。フロアのオメル・コビリヤクは晴れやかな声で、ドンナーのジョーダン・シヤナハンも聴き心地が良い。カリブの海賊のようなローゲ、マティアス・クリンクは演技派なのだが抒情的に歌うのは不得手だ。フリッカのバトリシ



ノセダが新音楽監督に就任した目的だという《指環》が始まった。チューリヒ歌劇場《ラインの黄金》から © Monika Ritterhaus

ン《月の世界》も、ようやくヴィンタートゥール劇場で5月5日初演された。ホモキ総裁が認める菅尾友の演出は、自身がヴァーチャル・リアリティのメガネを体験したときの感覚に発想を得たというだけあり、荒唐無稽な物語がリアルなコメディになつていった。客席から爆笑や同情

のため息が聴こえてくるたびに、戦争報道で固くなつている心をほぐされていると感じ、喜劇の社会的役割を実感した。ジョゼフ・パステイアンが指揮するムジークコレギウム・ヴィンタートゥールは豊かな音楽的発展が望まれるが、ボナフェーテになりきったイーリヤ・アルトゥクホフ、フラミニニアを美声で歌ったズイイー・ダイ、クラリス役のチエルシー・ツールフリユ、そして稽古中のケガのため舞台袖でチェッコ役を歌ったルイス・マガリヤネスの将来が楽しみだ。

5月15日のコンサートでは、ジャンンドレア・ノセダ指揮ジャニス・ヤンセンのソロでチャイコフスキー「ヴァイオリン協奏曲」が鳥肌ものだった。

ヴィオッティのトーンハレ管デビューとソコロフのリサイタル

故マルチェッロ・ヴィオッティが見たらさぞ満足であろう、息子ロレンツォ・ヴィオッティのトーンハレ・デビューを4月29日に聴いた。演奏前に自身で解説した通り、ソリストのヴェロニカ・エーベルレとオーケストラの対話が始まったコロンゴル

ト「ヴァイオリン協奏曲」は、第1楽章のあとに拍子が出るほど心を掴んだ。第2楽章ではノスタルジックに悲しい「完全な静」を構築したあと、第3楽章は暴力的に、嘲笑するように頂点に達した。休憩後はR・シュトラウス《ばらの騎士》組曲「できらびやかな情熱を聴かせ、オクタヴィアンとソフィーの愛のメロディは美しすぎるほどだ。ワルツも出だしはもう少し遊びがあったほうがいいと思われたが、リズムに乗ってくるとはまり出し、大円舞では弱拍の「ため」も上手く、皮肉もこめてダイナミックに終わると、オペラ全幕を観たような満足感を覚えた。そしてラヴェル《ラ・ヴァルス》では、作曲時の第一次世界大戦から現在も戦争する人類の愚かさを再認識させた。

ホッホウリ・コンサート株式会社が定期的にトーンハレで主催するグリゴリー・ソコロフのリサイタル、今年は5月21日、ペートル・ヴェンの「自主主題による15の変奏曲とフーガ《プロメテウス変奏曲》」で第1音から、存在感のある音で優しくゆつくり語りかけるように始まった。スポットライトなしの舞台でも、実在感のある音が浮き上がってくる。プラームス「3つの間奏曲」は懐かしいような音で始まり、2曲目の切なさは人生そのものを語る壮大なスケールを感じさせる。3曲目は悟りのようで美しい。この間奏曲の感動は貴重な体験だった。そしてシューマン《クライスレリアーナ》はゴージャスな音で始まり、魂から湧き出るように、最後の2曲はとくに慈しみながら弾ききった。アンコールは6曲も演奏し、若い層も多かった客席はロッキングコンサートのように、口笛や拍手喝采に包まれた。